

## 目標達成計画

作成日: 平成 25年 10 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	真新しい施設に変わり、新たな思いで支援に取り組まれる中、理念に対する受け止め方、見直し等期待します。職員と相談しながら、新しい理念作成に取り組んだらいいのでは。	グループホームとしての、認知症介護の目標を新たに作成して、目標を常に意識した認知症介護を全職員が行うことができる。	全職員に対して、一人ひとりが認知症介護で何が大切か考えて、その中で、大切にすることを話し合い、目標を作成した。目標を目に付く所に掲示して常に意識した介護が出来るようにした。①「すみません」「ありがとう」の感謝の介護 ②その人らしく、価値観を大切に尊敬と笑顔でコミュニケーションをとる。③思いやり、責任感、協調性	4か月
2	2	地域とのつながりを大切に。特に防災など地域力を活かした取り組み。地区の人の訪問はあるか。地域への外出の機会をもっと増やして欲しい。地域には支援学校等があり、交流をもったらどうか。	地域の方との交流を活発に行う。 ①地域での行事に参加、交流する。 ②地域の方が、ホームに来てくつろいでくれるようになる。	①風の子まつり(支援学校)への参加と交流。地区での行事への参加。(情報収集) ②運営推進会議で民生委員や区長に相談して、まずは食事などの参加を依頼する。その後、地域の方への参加を依頼する。年1回程、地域の方と利用者が共に食事したりカラオケなど触れ合う機会と場を提供していく。	1年
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。